

参考資料

- 1 一般廃棄物の処理状況等
- 2 産業廃棄物の処理状況等

1 一般廃棄物の処理状況 (ごみ処理フロー (R5))

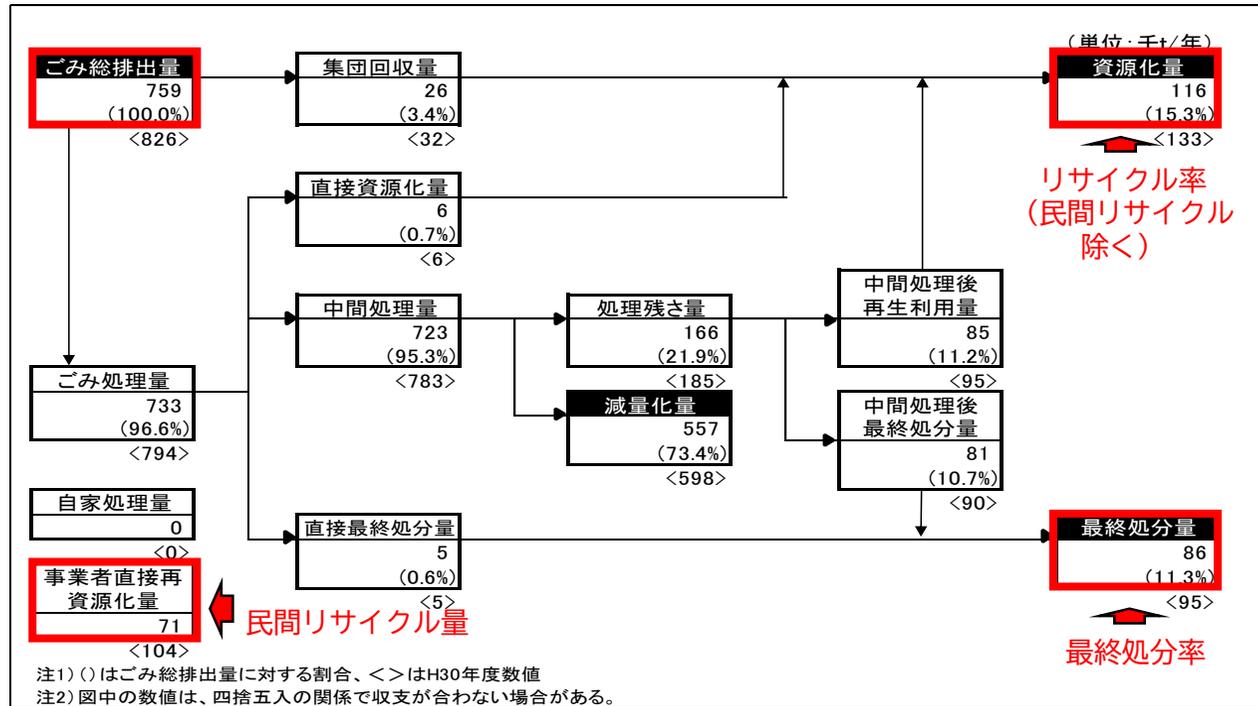


表1-1 一般廃棄物処理量の推移

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R5-H30	増減率
ごみ総処理量 (t/年)	793,168	795,392	784,900	780,048	775,079	733,504	▲ 59,664	▲7.5%
直接搬入量焼却量 (t/年)	642,595	647,401	630,083	628,617	624,980	591,973	▲ 50,622	▲7.9%
焼却以外の中間処理量 (t/年)	139,618	136,816	143,523	140,651	138,288	131,171	▲ 8,447	▲6.1%
粗大ごみ処理施設 (t/年)	55,279	54,523	59,608	56,163	56,067	51,667	▲ 3,612	▲6.5%
資源化を行う施設 (t/年)	83,006	80,959	82,018	82,776	80,523	78,782	▲ 4,224	▲5.1%
ごみ堆肥化施設 (t/年)	1,189	1,193	1,326	1,572	1,560	484	▲ 705	▲59.3%
ごみ燃料化施設 (t/年)	144	141	141	140	138	142	▲ 2	▲1.4%
その他の施設 (t/年)	0	0	430	0	0	96	96	-
直接資源化量 (t/年)	5,639	5,462	5,686	5,640	5,950	5,665	26	0.5%
直接最終処分量 (t/年)	5,316	5,713	5,608	5,140	5,861	4,695	▲ 621	▲11.7%
減量処理率 (%)	81.7%	82.1%	81.0%	81.3%	81.4%	81.5%	▲ 0	▲0.0pt
直接焼却率 (%)	81.0%	81.4%	80.3%	80.6%	80.6%	80.7%	▲ 0	▲0pt
直接埋立率 (%)	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.8%	0.6%	▲ 0	▲0.0pt

※減量処理率 (%) = (直接焼却量 + 焼却以外の中間処理量 + 直接資源化量) ÷ ごみ総処理量

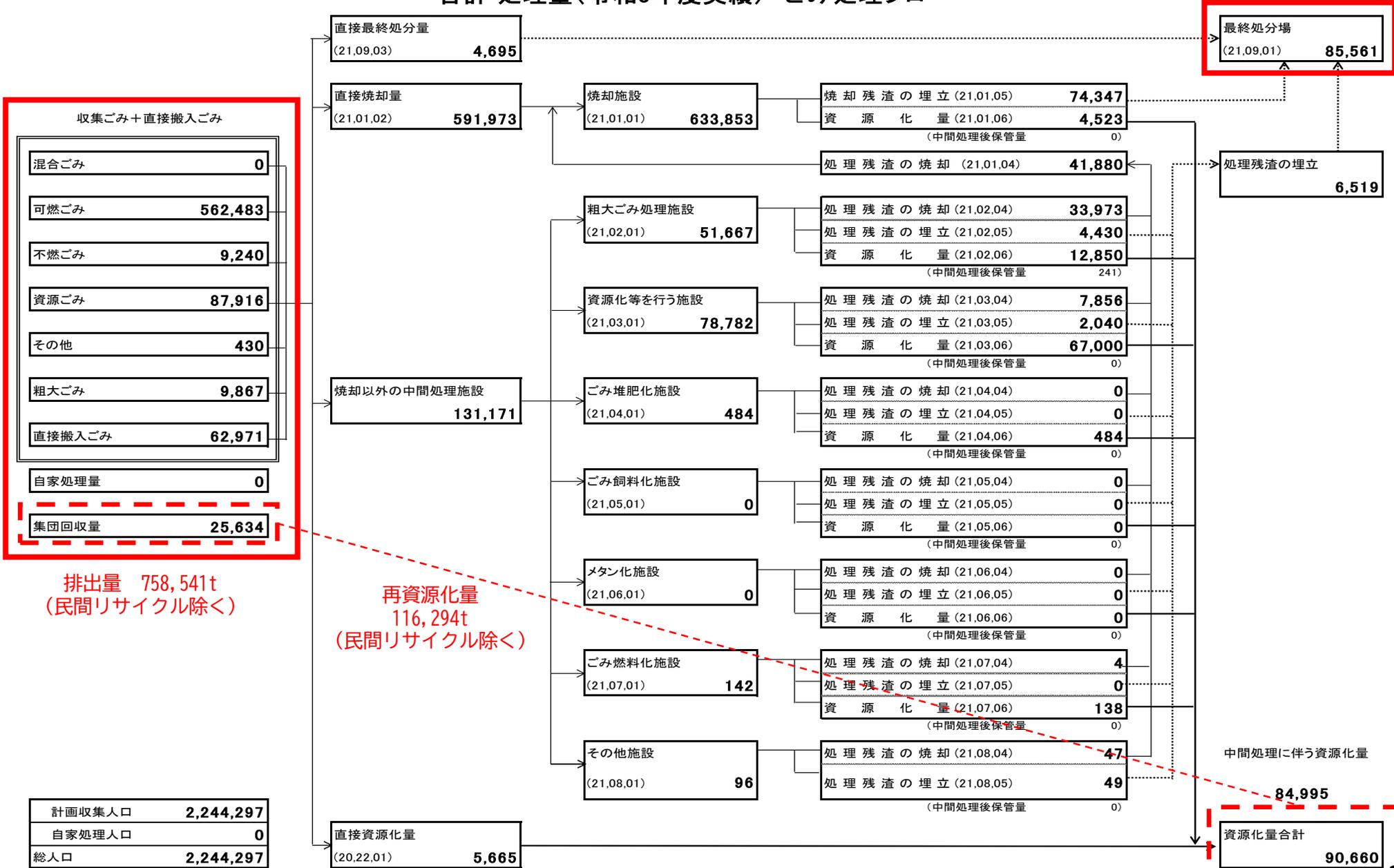
※直接焼却率 (%) = 直接焼却量 ÷ ごみ総処理量

※直接埋立率 (%) = 直接最終処分量 ÷ ごみ総処理量

1 一般廃棄物の処理状況 (ごみ処理フロー (R5))

合計 処理量(令和5年度実績) ごみ処理フロー

最終処分量



1 一般廃棄物の処理状況（1人1日当たりのごみ排出量の推移）

※自治体回収分のみ（民間処理除く）

表1-2 一般廃棄物排出量の推移

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R5-H30	増減率
総人口 (人)	2,302,880	2,292,498	2,282,803	2,269,119	2,259,368	2,244,297	▲ 58,583	▲2.5%
計画収集人口 (人)	2,302,880	2,292,498	2,282,803	2,269,119	2,259,368	2,244,297	▲ 58,583	▲2.5%
自家処理人口 (人)	0	0	0	0	0	0	0	-
ごみ総排出量 (t/年)	825,806	830,607	814,327	808,078	801,656	758,541	▲ 67,265	▲8.1%
収集ごみ量 (t/年)	731,360	732,962	714,724	711,883	705,570	669,936	▲ 61,424	▲8.4%
可燃ごみ (t/年)	614,064	618,210	597,737	596,580	592,234	562,483	▲ 51,581	▲8.4%
不燃ごみ (t/年)	11,036	11,575	12,118	10,870	11,436	9,240	▲ 1,796	▲16.3%
資源ごみ (t/年)	94,584	91,522	92,666	92,900	90,575	87,916	▲ 6,668	▲7.0%
その他のごみ (t/年)	470	450	424	439	448	430	▲ 40	▲8.5%
粗大ごみ (t/年)	11,206	11,205	11,779	11,094	10,877	9,867	▲ 1,339	▲11.9%
混合ごみ (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	-
直接搬入量 (t/年)	62,381	64,109	70,724	68,360	70,242	62,971	590	0.9%
集団回収量 (t/年)	32,065	33,536	28,879	27,835	25,844	25,634	▲ 6,431	▲20.1%
1人1日当たりのごみ排出量 (g/人日)	982	990	977	976	972	923	▲ 59	▲6.0%
生活系ごみ (g/人日)	678	683	696	690	680	646	▲ 32	▲4.7%
事業系ごみ (g/人日)	304	307	281	285	292	278	▲ 26	▲8.6%

※人口には、外国人人口を含む。

- H30とR5を比較すると、人口の減少率（▲2.6%）に対して、ごみ総排出量は▲8.1%減少しており、自治体で回収するごみの減少率が高い傾向になっている。
- 資源ごみの減少（▲7.0%）のほか、集団回収量が大きく減少（▲20.1%）しており、再資源化量が減少。
- R1年度以降、コロナ禍の影響もあり市町村の処理施設に直接搬入される量が増加し、コロナが五類に移行したR5以降は再度減少に転じている。

1 一般廃棄物の処理状況（再資源化量の推移）

表1-3 一般廃棄物の再資源化の推移

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R5-H30	増減率
再資源化量 (t/年)	132,573	132,199	128,386	126,725	119,762	116,294	▲ 16,279	▲12.3%
市町村による資源化量 (t/年)	100,508	98,663	99,507	98,890	93,918	90,660	▲ 9,848	▲9.8%
中間処理後再生利用量 (t/年)	94,869	93,201	93,821	93,250	87,968	84,995	▲ 9,874	▲10.4%
直接資源化量 (t/年)	5,639	5,462	5,686	5,640	5,950	5,665	26	0.5%
集団回収量 (t/年)	32,065	33,536	28,879	27,835	25,844	25,634	▲ 6,431	▲20.1%
総資源化量(品目別)	132,573	132,199	128,386	126,725	119,762	116,294	▲ 16,279	▲12.3%
紙類 (t/年)	61,136	60,766	56,555	54,872	52,374	50,084	▲ 11,052	▲18.1%
金属類 (t/年)	14,447	14,977	15,788	15,393	14,868	13,864	▲ 583	▲4.0%
ガラス類 (t/年)	16,738	16,130	15,919	15,431	13,997	14,418	▲ 2,320	▲13.9%
ペットボトル (t/年)	7,499	7,429	7,552	7,918	8,034	8,351	852	11.4%
プラスチック類 (t/年)	17,683	17,766	18,801	20,355	17,707	19,215	1,532	8.7%
布類 (t/年)	1,550	1,578	1,218	1,604	1,537	1,482	▲ 68	▲4.4%
溶融スラグ (t/年)	5,378	4,922	4,127	3,960	3,965	3,458	▲ 1,920	▲35.7%
セメント原料化 (t/年)	2,689	2,715	2,452	2,315	0	0	▲ 2,689	▲100.0%
廃食用油 (t/年)	63	65	61	65	59	53	▲ 10	▲15.9%
その他 (t/年)	5,390	5,851	5,913	4,812	7,221	5,369	▲ 21	▲0.4%
ごみ総処理量 (t/年)	793,168	795,392	784,900	780,048	775,079	733,504	▲ 59,664	▲7.5%
リサイクル率 (%)	16.1%	15.9%	15.8%	15.7%	15.0%	15.3%	▲ 0	▲4.6%
民間事業者による資源化量 (t/年)	104,311	98,639	90,465	91,478	81,697	71,229	▲ 33,082	▲31.7%
県全体の資源化量 (t/年)	236,884	230,838	218,851	218,203	201,459	187,523	▲ 49,361	▲20.8%
県全体のリサイクル率 (%)	25.5%	24.9%	24.2%	24.3%	22.8%	22.6%	▲ 0.03	▲11.4%

※民間事業者による資源化量は、市町村が把握している資源化量を計上（民間の全量ではないので注意）

事業者直接再資源化量 (t/年)	104,311	98,639	90,465	90,465	81,697	71,229
------------------	---------	--------	--------	--------	--------	--------

- 市町村による資源化量、民間事業者による資源化量ともに減少傾向。
- 市町村の資源化の内訳を見ると、ペットボトルやプラスチックは増加傾向にある一方で、古紙やガラス類等の資源回収量の減少などにより、再資源化量は減少傾向にある。

1 一般廃棄物の処理状況（最終処分量の推移）

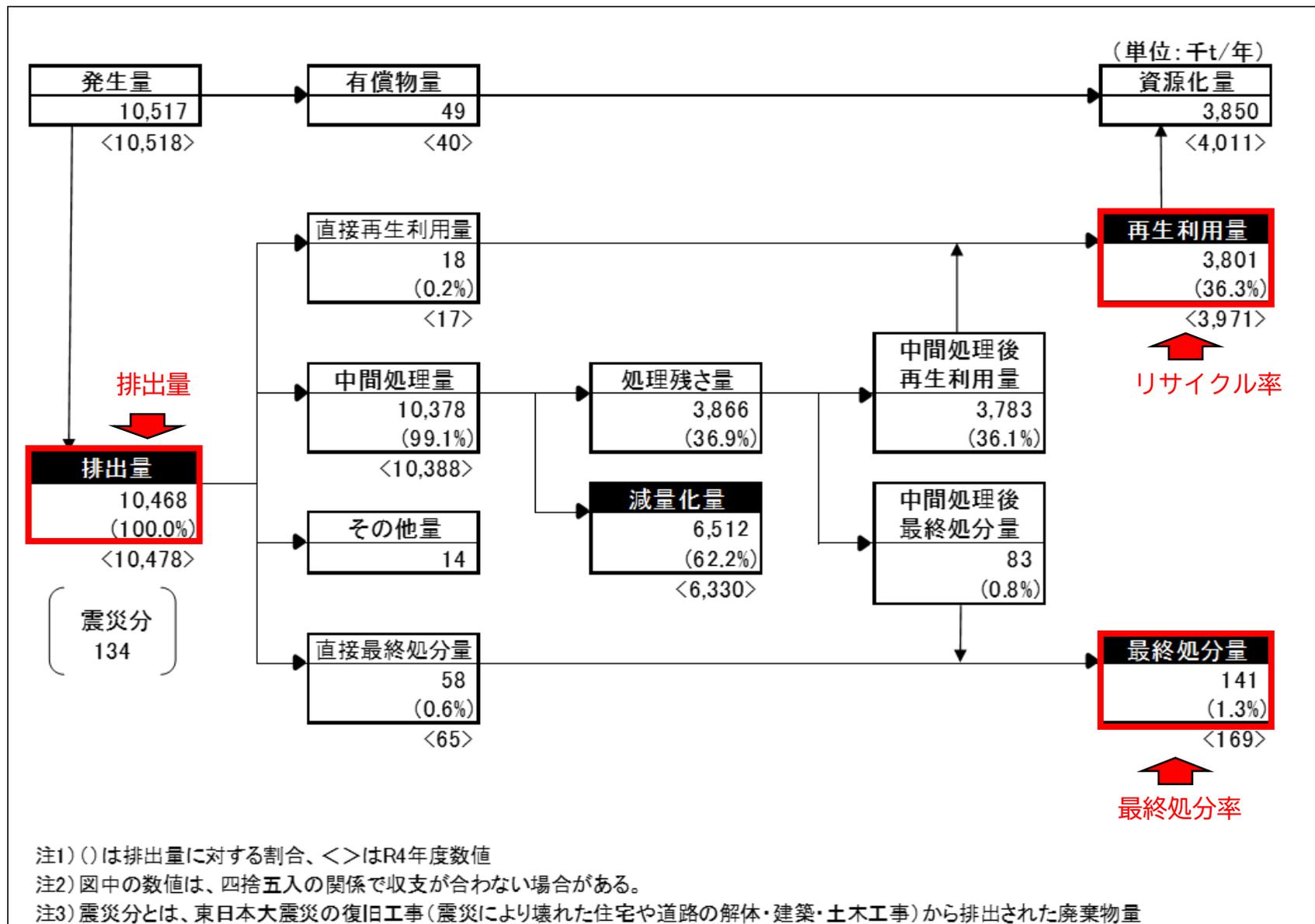
表1-4 一般廃棄物最終処分量の推移

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R5-H30	増減率
総最終処分量 (t/年)	95,342	98,274	97,267	92,468	95,649	85,561	▲ 9,781	▲10.3%
直接最終処分量 (人)	5,316	5,713	5,608	5,140	5,861	4,695	▲ 621	▲11.7%
焼却残さ量 (人)	81,974	85,324	83,581	79,998	82,830	74,347	▲ 7,627	▲9.3%
焼却以外の中間処理施設からの残さ量 (t/年)	8,052	7,237	8,078	7,330	6,958	6,519	▲ 1,533	▲19.0%
総人口 (t/年)	2,302,880	2,292,498	2,282,803	2,269,119	2,259,368	2,244,297	▲ 58,583	▲2.5%
1人1日当たりの最終処分量 (g/人日)	113	117	117	112	116	104	▲ 9	▲8.2%

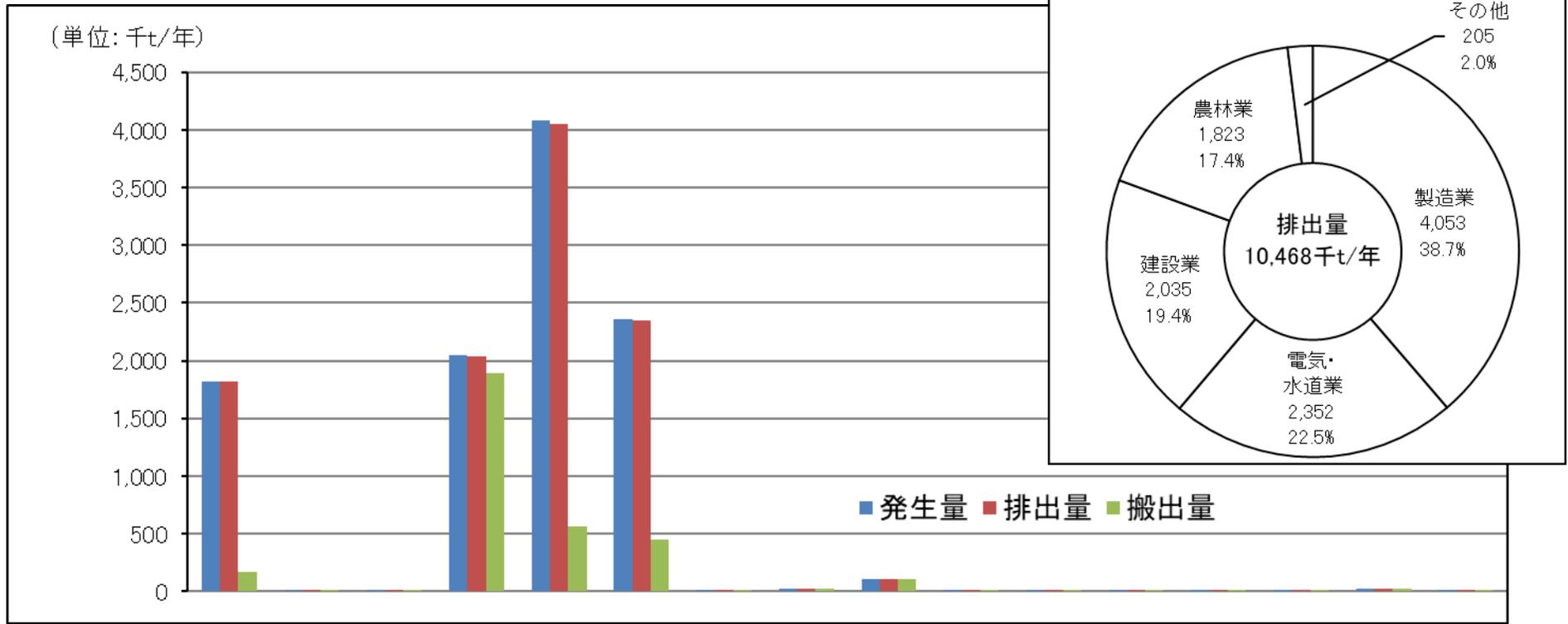
※人口には、外国人人口を含む。

- H30とR5を比較すると、人口の減少率（▲2.5%）に対して、最終処分量は▲10.3%とより減少幅が大きく、1人1日当たりの最終処分量も▲9g/人日（▲8.2%）と改善。

2 産業廃棄物の処理状況（処理フロー（R5））



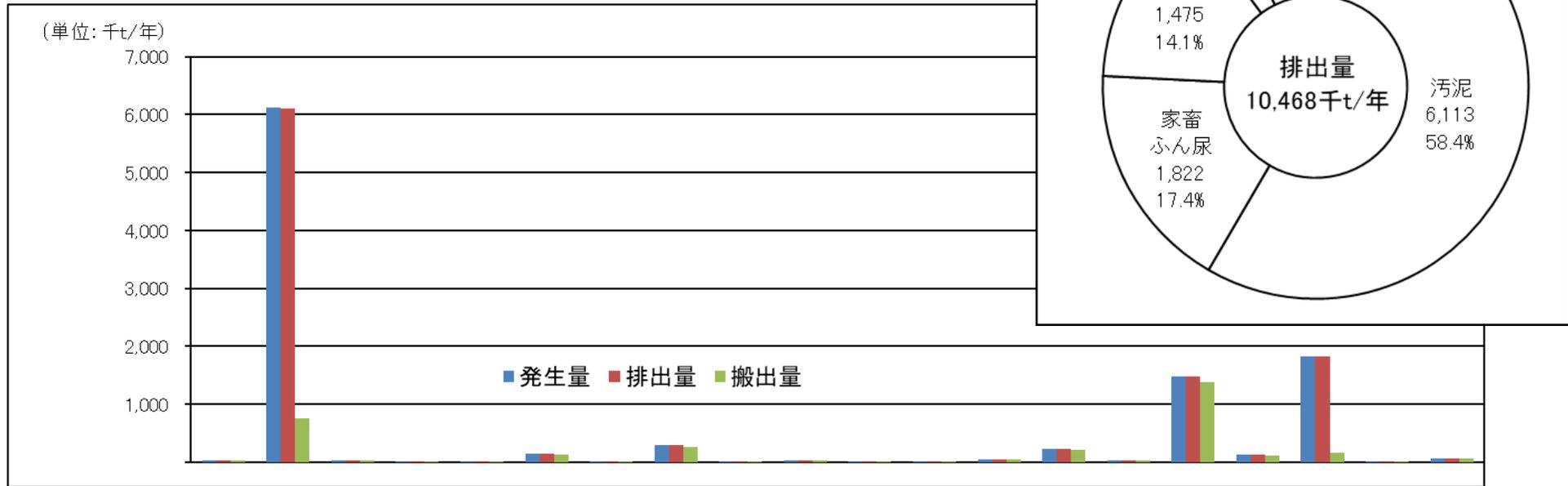
2 産業廃棄物の処理状況（業種別の排出量（R5））



項目	合計	農林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸・郵便業	卸・小売業	金融・保険	物品賃貸業	学術・専門	飲食・宿泊	生活・娯楽	医療・福祉	サービス
発生量	10,517	1,823	1	2	2,047	4,079	2,360	1	27	108	0	13	6	14	4	24	9
	(100.0%)	(17.3%)	(0.0%)	(0.0%)	(19.5%)	(38.8%)	(22.4%)	(0.0%)	(0.3%)	(1.0%)	(0.0%)	(0.1%)	(0.1%)	(0.1%)	(0.0%)	(0.2%)	(0.1%)
うち震災分	134	-	-	-	134	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	10,468	1,823	1	2	2,035	4,053	2,352	1	26	106	0	13	6	14	4	24	9
	(100.0%)	(17.4%)	(0.0%)	(0.0%)	(19.4%)	(38.7%)	(22.5%)	(0.0%)	(0.3%)	(1.0%)	(0.0%)	(0.1%)	(0.1%)	(0.1%)	(0.0%)	(0.2%)	(0.1%)
うち震災分	134	-	-	-	134	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
搬出量	3,272	165	1	0	1,897	568	447	1	21	103	0	13	6	14	4	24	9
	(100.0%)	(5.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(58.0%)	(17.3%)	(13.7%)	(0.0%)	(0.7%)	(3.2%)	(0.0%)	(0.4%)	(0.2%)	(0.4%)	(0.1%)	(0.7%)	(0.3%)
うち震災分	127	-	-	-	127	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

➤ 主な排出業種は製造業、電気・水道業、建設業、農林業である

2 産業廃棄物の処理状況（種類別の排出量（R5））



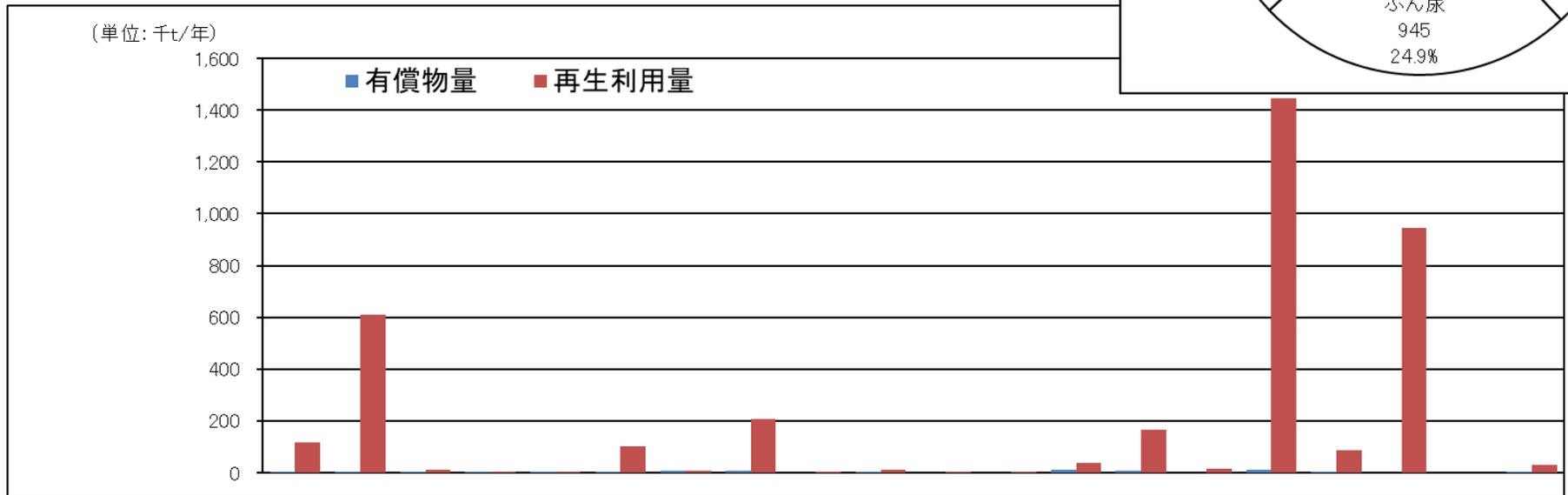
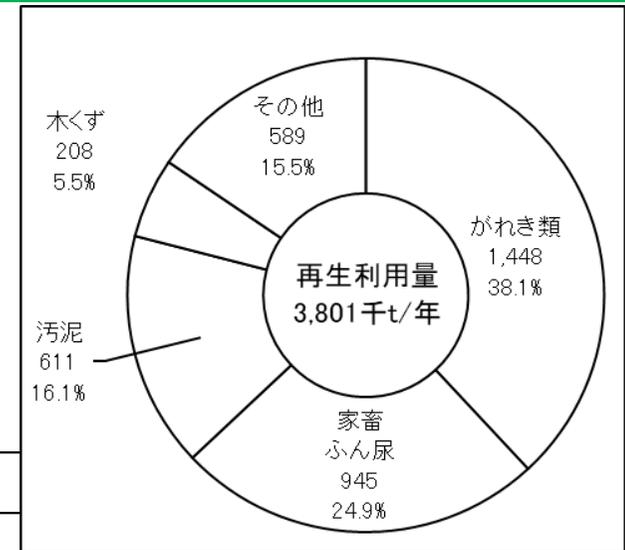
項目	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	家畜ふん尿	家畜の死体	その他産業廃棄物
発生量	10,517	24	6,114	37	12	10	150	15	299	3	31	1	0	55	235	33	1,484	123	1,822	0	70
	(100.0%)	(0.2%)	(58.1%)	(0.4%)	(0.1%)	(0.1%)	(1.4%)	(0.1%)	(2.8%)	(0.0%)	(0.3%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.5%)	(2.2%)	(0.3%)	(14.1%)	(1.2%)	(17.3%)	(0.0%)	(0.7%)
うち震災分	134		24	0	0		2	0	9	0				0	2	0	94				2
排出量	10,468	24	6,113	35	11	10	148	9	292	3	30	1	0	44	227	33	1,475	123	1,822	0	69
	(100.0%)	(0.2%)	(58.4%)	(0.3%)	(0.1%)	(0.1%)	(1.4%)	(0.1%)	(2.8%)	(0.0%)	(0.3%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.4%)	(2.2%)	(0.3%)	(14.1%)	(1.2%)	(17.4%)	(0.0%)	(0.7%)
うち震災分	134		24	0	0		2	0	9	0				0	2	0	94				2
搬出量	3,272	34	746	34	11	9	132	9	254	3	30	1	0	41	208	26	1,385	116	164	0	68
	(100.0%)	(1.0%)	(22.8%)	(1.0%)	(0.3%)	(0.3%)	(4.0%)	(0.3%)	(7.8%)	(0.1%)	(0.9%)	(0.0%)	(0.0%)	(1.3%)	(6.4%)	(0.8%)	(42.3%)	(3.6%)	(5.0%)	(0.0%)	(2.1%)
うち震災分	127	0	21	0	0		2	0	9	0				0	2	0	91				2

➤ 排出量は、汚泥、家畜ふん尿、がれき類が全体の約9割占めている。

2 産業廃棄物の処理状況（種類別の再生利用量（R5））

- リサイクル量は、がれき類、家畜ふん尿、汚泥が全体の約8割を占めている。
以下は排出量におけるリサイクル量の割合

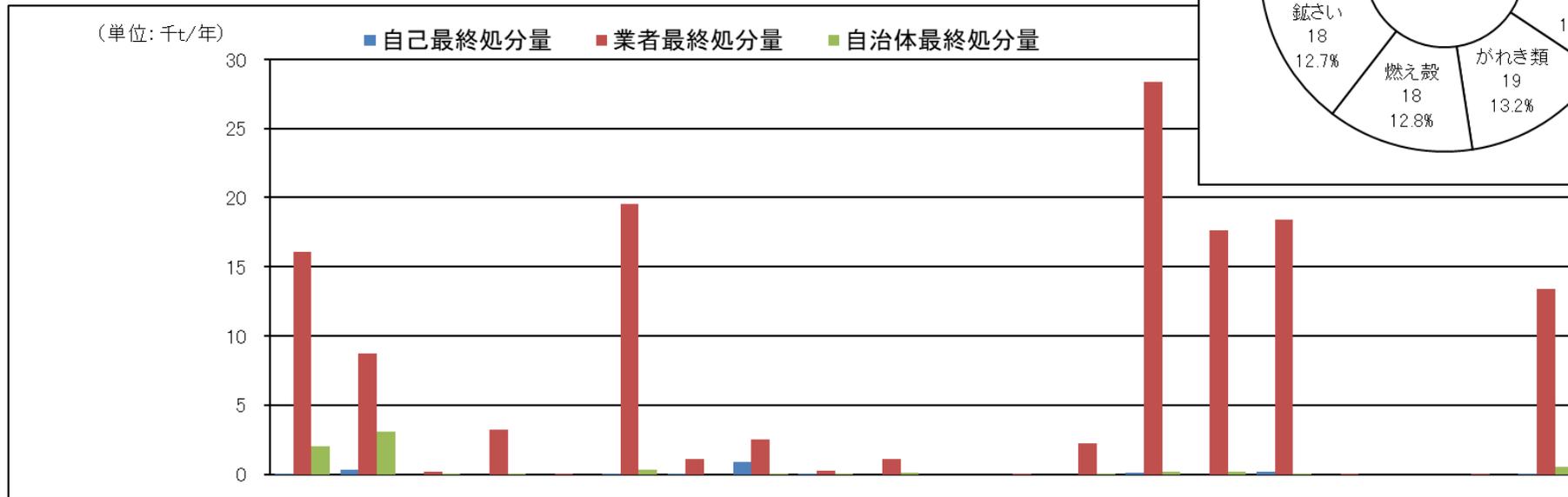
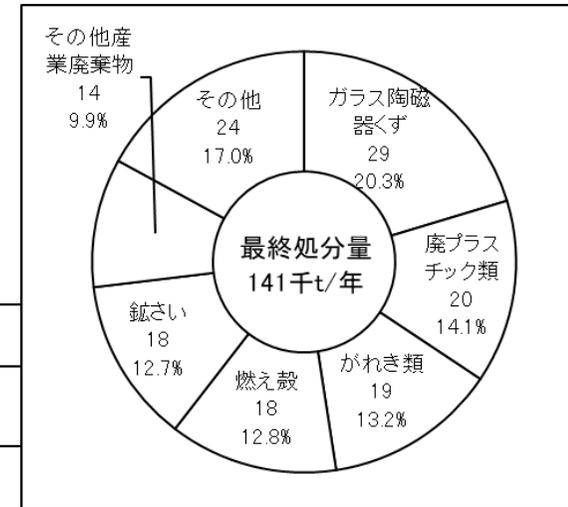
- がれき類 : 98.1%
- 家畜ふん尿 : 51.9%
- 汚泥 : 10.0%



項目	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	紙さい	がれき類	ばいじん	家畜ふん尿	家畜の死体	その他産業廃棄物
資源化量	3,850	116	613	14	3	1	104	14	215	2	11	0	0	50	174	15	1,458	85	945		29
	(100.0%)	(3.0%)	(15.9%)	(0.4%)	(0.1%)	(0.0%)	(2.7%)	(0.4%)	(5.6%)	(0.1%)	(0.3%)	(0.0%)	(0.0%)	(1.3%)	(4.5%)	(0.4%)	(37.9%)	(2.2%)	(24.6%)	(0.0%)	(0.8%)
有償物量	49	0	2	3	1	0	2	6	7		0		0	11	8	10	0	0	0	0	0
	(100.0%)	(0.1%)	(3.3%)	(5.2%)	(1.8%)	(0.0%)	(3.3%)	(11.9%)	(14.9%)	(0.0%)	(0.9%)	(0.0%)	(0.0%)	(22.3%)	(16.0%)	(0.0%)	(19.5%)	(0.4%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.4%)
再生利用量	3,801	116	611	12	2	1	103	8	208	2	11	0	0	39	167	15	1,448	85	945		29
	(100.0%)	(3.0%)	(16.1%)	(0.3%)	(0.1%)	(0.0%)	(2.7%)	(0.2%)	(5.5%)	(0.1%)	(0.3%)	(0.0%)	(0.0%)	(1.0%)	(4.4%)	(0.4%)	(38.1%)	(2.2%)	(24.9%)	(0.0%)	(0.8%)
うち震災分	124	0	19	0			2	0	6	0				0	1		94				1

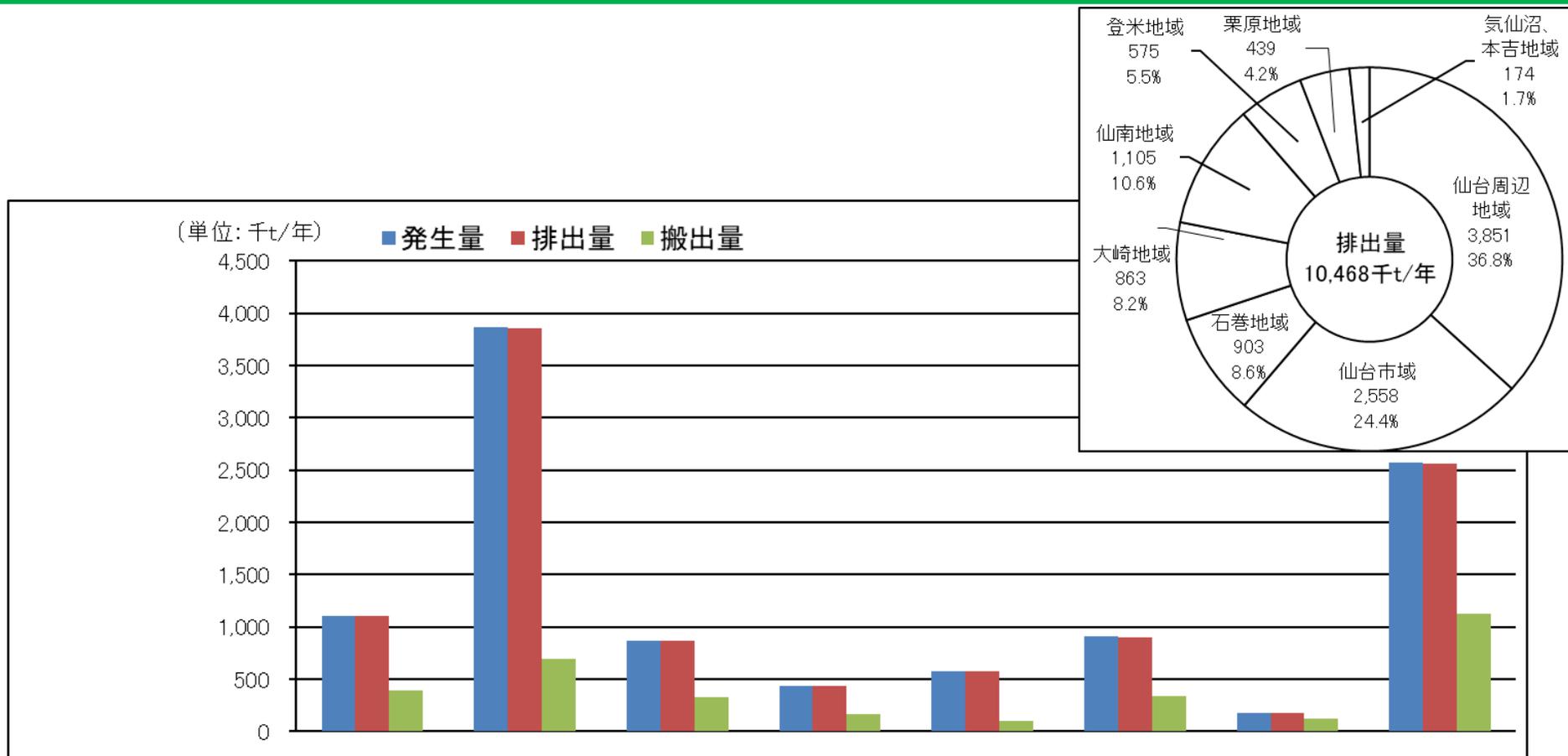
2 産業廃棄物の処理状況（種類別の最終処分の状況（R5））

- 最終処分量は、ガラス陶磁器くず、廃プラスチック類、がれき類、燃え殻、鉱さいの順に多く、これらが全体の約7割を占めている。



項目	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	家畜ふん尿	家畜の死体	その他産業廃棄物	
最終処分量計	141	18	12	0	3	0	20	1	3	0	1		0	2	29	18	19	0		0	14	
	(100.0%)	(12.8%)	(8.6%)	(0.1%)	(2.3%)	(0.0%)	(14.1%)	(0.8%)	(2.5%)	(0.2%)	(0.9%)	(0.0%)	(0.0%)	(1.6%)	(20.3%)	(12.7%)	(13.2%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(9.9%)	
うち震災分	2	0	0				0	0	0	0				0	1	0	0					0
自己最終処分量	2	0	0				0	0	1	0					0		0					0
	(100.0%)	(0.8%)	(22.8%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.3%)	(0.1%)	(57.8%)	(1.5%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(5.4%)	(0.0%)	(9.7%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(1.6%)
業者最終処分量	133	16	9	0	3	0	20	1	3	0	1		0	2	28	18	18	0		0	13	
	(100.0%)	(12.1%)	(6.6%)	(0.1%)	(2.4%)	(0.0%)	(14.7%)	(0.8%)	(1.9%)	(0.2%)	(0.8%)	(0.0%)	(0.0%)	(1.7%)	(21.3%)	(13.3%)	(13.9%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(10.1%)	
自治体最終処分量	7	2	3	0	0		0		0	0	0			0	0	0	0					1
	(100.0%)	(30.6%)	(46.9%)	(0.1%)	(0.1%)	(0.0%)	(4.8%)	(0.0%)	(0.5%)	(0.0%)	(1.6%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.4%)	(2.8%)	(3.1%)	(0.6%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(8.5%)

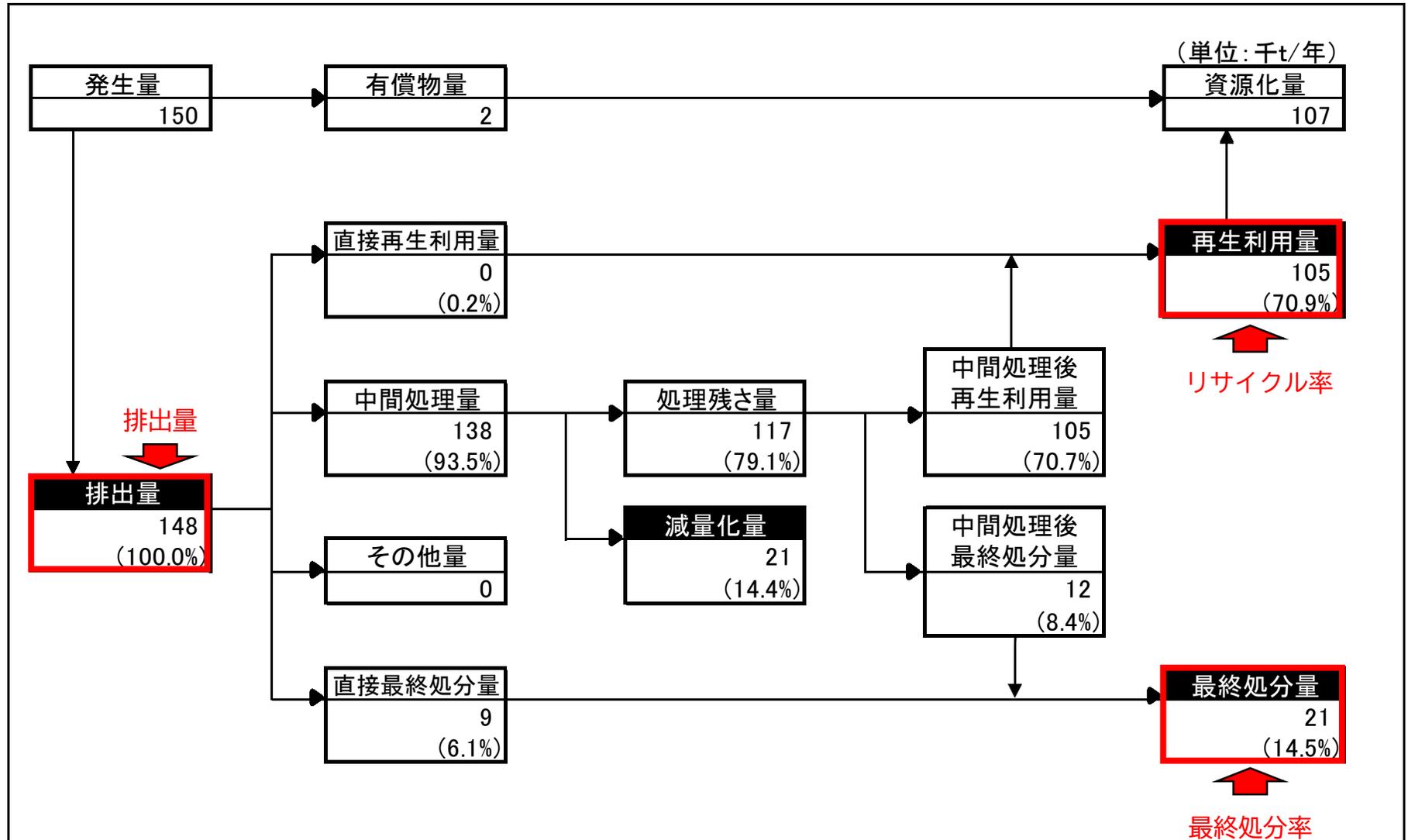
2 産業廃棄物の処理状況（地域別の排出の状況（R5））



項目	合計	仙南地域	仙台周辺地域	大崎地域	栗原地域	登米地域	石巻地域	気仙沼、本吉地域	仙台市域
発生量	10,517	1,109	3,868	866	441	576	910	174	2,573
	(100.0%)	(10.5%)	(36.8%)	(8.2%)	(4.2%)	(5.5%)	(8.6%)	(1.7%)	(24.5%)
排出量	10,468	1,105	3,851	863	439	575	903	174	2,558
	(100.0%)	(10.6%)	(36.8%)	(8.2%)	(4.2%)	(5.5%)	(8.6%)	(1.7%)	(24.4%)
搬出量	3,272	397	700	329	162	98	339	120	1,127
	(100.0%)	(12.1%)	(21.4%)	(10.1%)	(4.9%)	(3.0%)	(10.4%)	(3.7%)	(34.5%)

➤ 地域別の排出量は、仙台周辺地域、仙台市域が多く、全体の約6割を占めている。

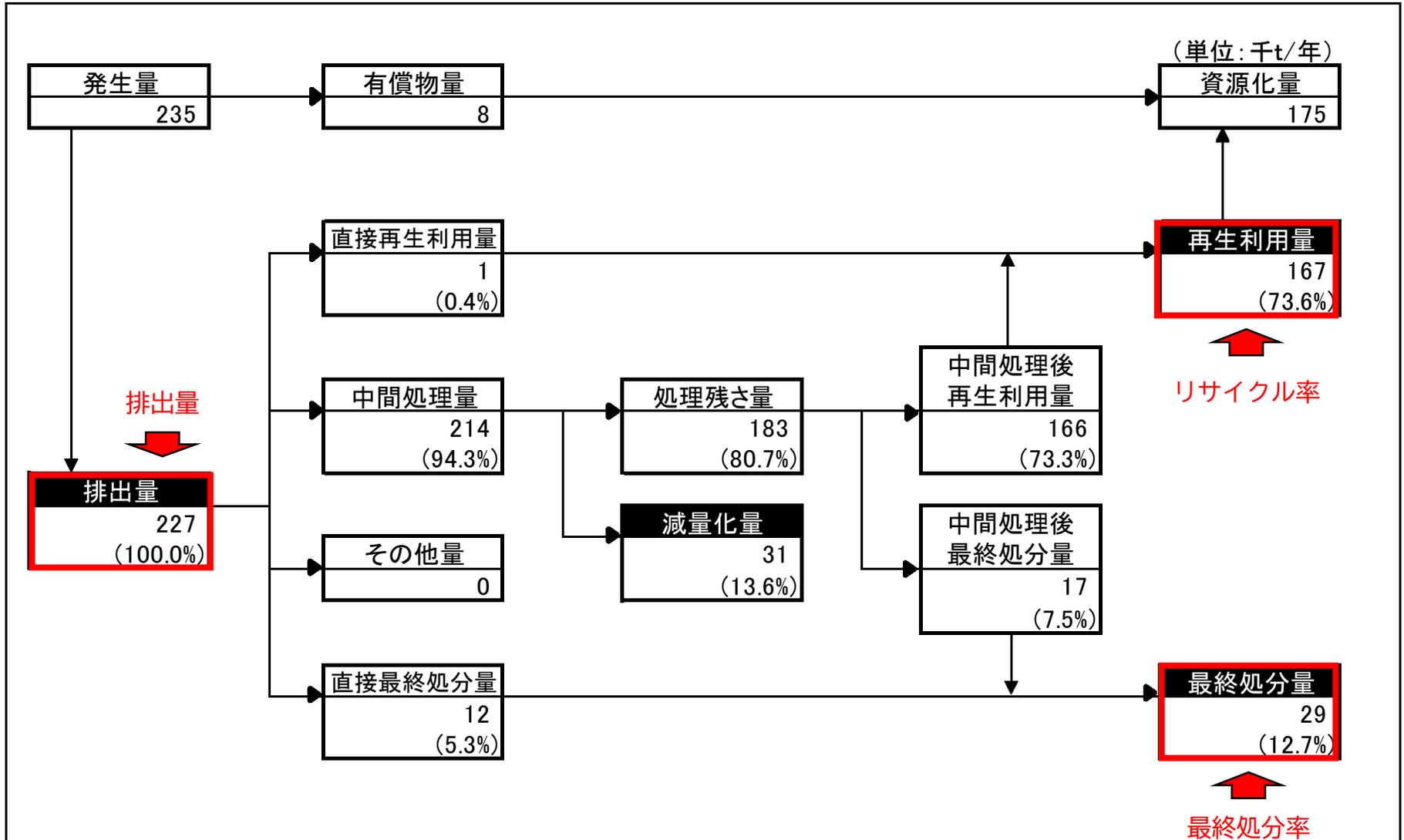
2 産業廃棄物の処理状況（廃プラスチックの処理状況（R5））



注1) ()は排出量に対する割合。

注2) 図中の数値は、四捨五入の関係で収支が合わない場合がある。

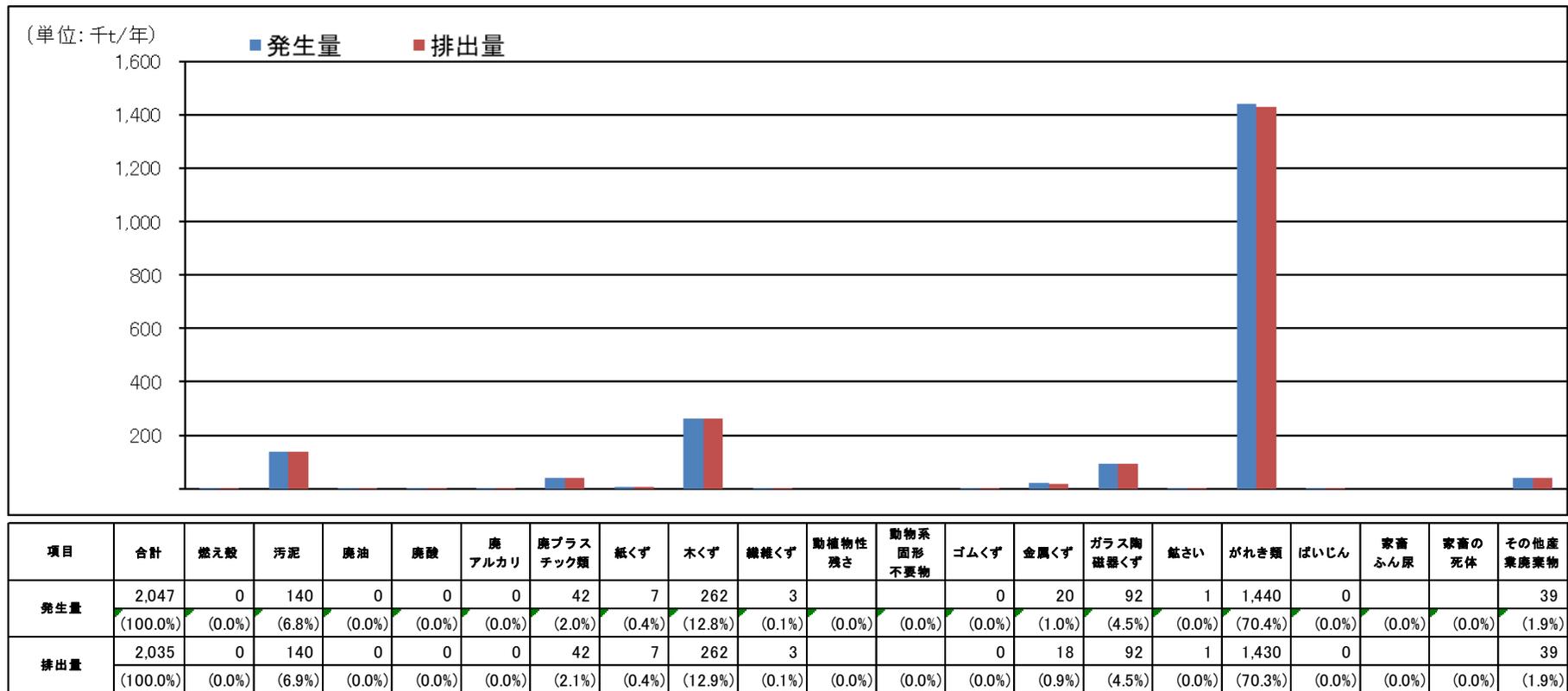
2 産業廃棄物の処理状況（ガラス陶磁器くずの処理状況（R5））



注1) ()は排出量に対する割合。

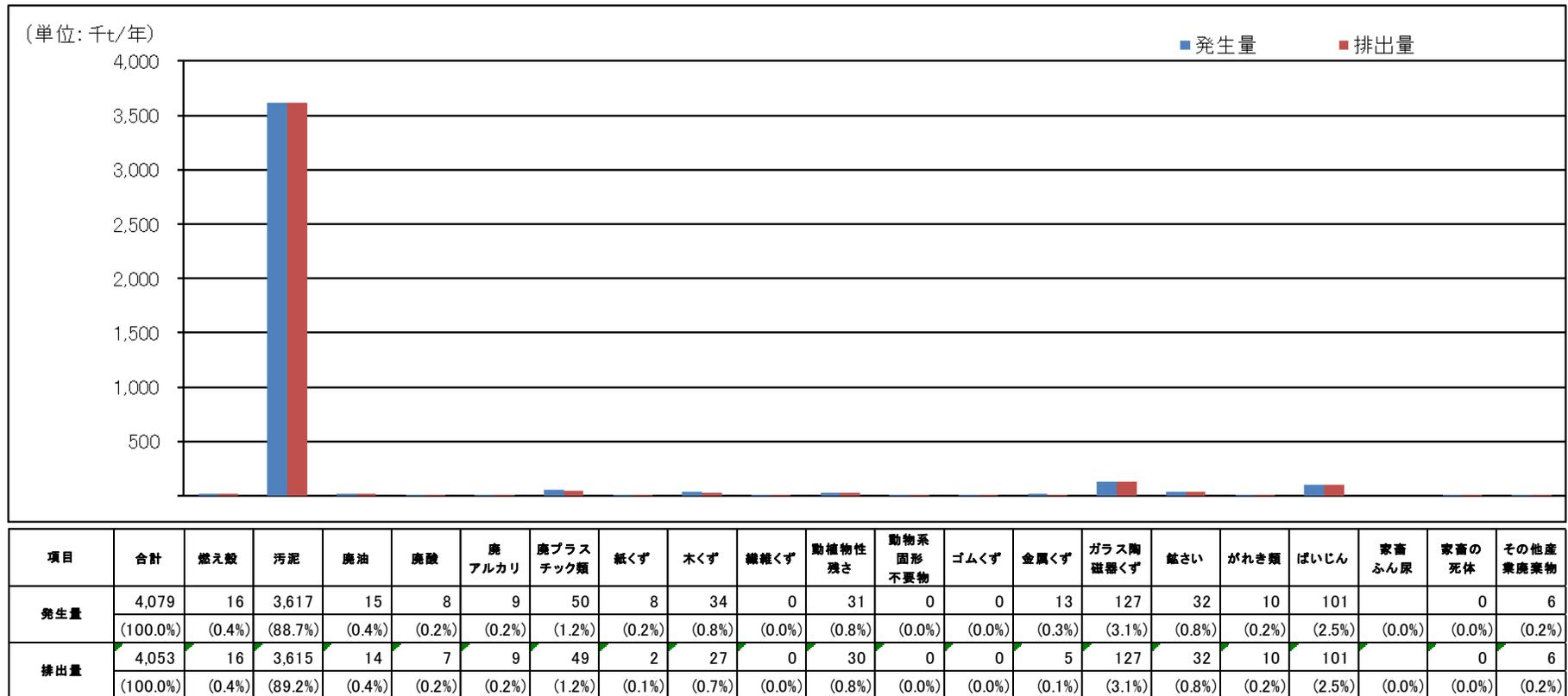
注2) 図中の数値は、四捨五入の関係で収支が合わない場合がある。

2 産業廃棄物の処理状況（建設業の排出の状況（R5））



- 建設業の排出量は、がれき類が最も多く、全体の約7割を占めている。
- ガラス陶磁器くずの排出量も多く、ガラス陶磁器くずの40.5%を占めている。
- 廃プラスチック類の排出量も多く、廃プラスチック類の28.3%を占めている。

2 産業廃棄物の処理状況（製造業の排出の状況（R5））



- 製造業の排出量は、汚泥が最も多く、全体の約9割を占めている。
- ガラス陶磁器くずの排出量も多く、ガラス陶磁器くずの55.9%を占めている。
- 廃プラスチック類の排出量も多く、廃プラスチック類の33.8%を占めている。